

# R 3年度 事業報告

社会福祉法人 ミルトス会

令和3年度における当法人並びに各事業所の事業報告は、次のとおりである。

## 1, 法人全体について

### (1) 令和3年度当法人理事会・評議員会審議事項等について

#### 1) 理事会

##### ①第 176 回理事会 (R3,5,30)

「令和2年度事業報告・事業報告の附属明細書及び監事監査報告の件」

「令和2年度計算関係書類・財産目録及び監事監査報告の件」

「次期役員候補者選出の件」

「定時評議員会の招集の件」

「報告事項」

「理事長の職務執行状況(理事長専決事項を含む)の報告について」(R3, 3, 1~R3, 5, 7)

##### ②第 177 回理事会 (R3,6,20)

「理事長の選定に関する件」

##### ③第 178 回理事会 (R3,11,6)

「令和3年度駿東学園拠点区分第1次補正予算書の件」

「令和3年度定期監事監査における指摘事項の是正・改善状況の件」

「ミルトス会就業規則及びミルトス会パートタイム職員就業規則の一部改定の件」

「社会福祉法人ミルトス会経理規程及び社会福祉法人ミルトス会経理規程細則の一部改定の件」

「報告事項」

「理事長の職務執行状況(理事長専決事項を含む)の報告について」

(R3, 5, 8~R3, 10, 11)

##### ④第 179 回理事会 (R4.3.19)

「令和3年度駿東学園拠点区分第2次補正予算書の件」

「中期行動計画 2022-2024 の件」

「法人各事業所管理者等の件」

「令和4年度ミルトス会及び各事業所事業計画の件」

「令和4年度駿東学園拠点区分当初予算書の件」

「ミルトス会就業規則の一部改定の件」

「社会福祉法人ミルトス会職員給与規程の一部改定の件」

- 「パートタイム職員給与の取り扱いの一部改定の件」
- 「育児・介護休業等に関する規程の一部改定の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会経理規程の一部改定の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会経理規程細則の一部改定の件」
- 「ミルトス会各事業所運営規程の一部改定の件」
- 「個人目標に対する考課規程の一部改定の件」
- 「ハラスメント防止規程の一部改定の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会地震防災規程の一部改定の件」
- 「駿東学園預り金規程の一部改定の件」
- 「社会福祉法に係る補償契約の内容の決定並びに補償契約書締結に伴う理事長の利益相反取引の件」
- 「社会福祉法に係る保険契約の内容の決定の件」
- 「報告事項」
  - (1) 社会福祉法に係る補償契約の内容の決定並びに補償契約書締結に伴う理事長の利益相反取引の件
  - (2) 令和4年度に係る監事監査実施計画の件
  - (3) 理事長の職務執行状況（理事長専決事項を含む）の報告について  
(R3, 10, 12～R4, 2, 28)

## 2) 評議員会

### ①第73回評議員会 (R3,6,20)

「報告事項」

「令和2年度事業報告について」

「決議事項」

「令和2年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認の件」

「理事6名及び監事2名の選任の件」

(1) 理事選任に係る、以下の各項についての承認の件

- ① 村井靖子氏を理事に選任する件
- ② 菊池静夫氏を理事に選任する件
- ③ 音淵正久氏を理事に選任する件
- ④ 村井恵太氏を理事に選任する件
- ⑤ 久田則夫氏を理事に選任する件
- ⑥ 高木徳雄氏を理事に選任する件

(2) 監事選任に係る、以下の各項についての承認の件

- ① 秋月千宏氏を監事に選任する件
- ② 湯山和行氏を監事に選任する件

(2) 監事監査について

監査は、業務及び会計監査を期中と決算時に監事のための監査チェックマニュアル等に則り実施した。

① 業務監査実施日

決算監査：令和3年5月12日                      期中監査：令和3年10月15日

② 会計監査実施日

決算監査：令和3年5月11日、12日      期中監査：令和3年10月15日

③ 監事意見

監事からは、期中監査及び決算監査において、会計に関する各事項は適正に処理されている旨の意見を頂いた。業務に関しては期中監査において、新型コロナウイルス感染防止対策を継続して職員の健康管理に注意を図ることと、自然災害に対する対策における設備点検等への対応を迅速に行なっていくよう意見を頂いた。

(3) 静岡県等の指導監査、立入等関係について

今年度は、指導監査、立入等関係についてはなかった。

(4) 登記関係について

- ・資産の総額登記：令和3年6月24日登記
- ・理事長重任登記：令和3年6月24日登記

(5) 情報公開について

改正社会福祉法に従い、財務諸表等電子開示システム、法人ホームページ・法人季刊誌並びに法人事務所に開示書類を公開並びに備え置きした。また、障害福祉サービス等情報公表制度に従い、障害福祉サービス等情報公表システムに登録した。

(6) 法人全体の主な事業計画についての実績

- 1) 「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取組」を法人役員の相互牽制の元、継続して行なっていく。

「地域における公益的な取組」については、今後求められる感染症対策を勘案した上で取り組めるようにしていく。(計画)

\*駿東学園（施設入所支援・生活介護）、短期入所駿東学園、クララ寮の運営規程の変更届を静岡県に令和3年4月8日に届出した。

\*駿東学園地域活動支援センターこでまり、日中一時支援事業、駿東学園相談サポートセンターなでこの運営規程の変更届を小山町に令和3年4月8日に届出した。

\*令和2年度介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書 {駿東学園（施設入所支援・生活介護）、短期入所駿東学園、クララ寮}、並びに令和3年度障害福祉サービス等処遇改善計画書を令和3年4月13日に静岡県へ提出した。

\*社会福祉法第59条等の規定に基づき所轄庁に届け出る書類を令和3年6月23日に静岡県へ提出した。

\*「障害福祉サービス等情報公表システム」事業所情報届出が令和3年7月17日に承

認された。

登録事業所名：駿東学園（施設入所支援、生活介護）、短期入所駿東学園、クララ寮、  
駿東学園相談サポートセンターなでしこ

\*令和2年度福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員等特定処遇改善加算に係る実績報告を令和3年7月8日に静岡県へ提出した。

\*駿東学園（生活介護・施設入所支援）に係る障害福祉サービスにおける指定更新に関する静岡県への届け出を令和3年8月16日に行う。結果、令和3年9月15日付で審査結果通知書が届く。

駿東学園（生活介護・施設入所支援）の指定更新年月日並びに指定の有効期限は次のとおりである。

指定更新年月日 令和3年10月1日

指定の有効期限 令和9年9月30日まで

\*感染症防止対策支援事業費補助金の交付申請を令和4年1月25日に行なった。結果、令和4年3月11日付で補助金（51,000円）の交付決定・確定通知が届いた。

\*福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の交付が決定し、給与規程の一部改定を行ない、3月末までに申請した。

\*地域における公益的取組については、明倫地域まちづくり推進協議会活動についてさつまいも掘りを行なう時期が、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを見せ始めた時期に重なり、11月18日に参加することができた。以降は再び感染拡大の状況が続き活動ができなかった。

2) 利用者支援においては、人権並びに権利擁護の視点を大切に意思決定支援をより明確に反映させた個別支援計画の策定により、自己決定が少しでも多くできるように充実した生活を送ることができるよう実践をしていく。（計画）

①個別支援計画（意思決定支援計画を含む）の充実と実践。（計画）

\*個別支援計画に則り、個別に実施し、感染症対策として手洗い等衛生面に重点を置いた支援をした。

\*個別支援計画の評価、次期の個別支援計画の説明について、新型コロナウイルス感染防止に配慮して保護者等の来園を控えていただくため、個別支援計画関係資料を郵送で確認していただき、「同意書」と併せて、「個別支援意向確認書」を用意し必要なお要望等を返送していただく形で行なった。

②高齢化に伴う体力・機能低下予防に努める。（計画）

\*個別支援計画に則り、個別に実施した。

また、理学療法士によるリハビリについては新型コロナウイルス感染状況が好転した時期に再開したが、程なく爆発的な感染拡大状況に至ったことにより、以降は実施を見合わせる事となった。

③権利擁護、虐待防止に係る委員会体制の充実を図る。（計画）

- \* 権利擁護・虐待防止委員会を定期的に実施した。
- \* 権利擁護チェックリストの改定について、法人理念、倫理綱領、職員行動規範を反映させた形のチェックリストを作成し、原点回帰を職員に求めた。

3) 「働き方改革を推進するための関連法律の整備に関する法律」により求められる課題への取組について、引き続き社会保険労務士と連携し対応する。(計画)

- \* 育児・介護休業法の改正に伴う対応等の労務管理に係る事項について相談するなど、随時社会保険労務士に助言指導をいただき対応した。
- \* 新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大により、影響を受けた職員の勤務の取扱いや補償等と共に、労務管理に係る事項について相談するなど、随時社会保険労務士に助言指導をいただき対応した。

4) 南海トラフ巨大地震や富士山噴火、及び風水害に対する当法人の対策と小山町の計画とのすり合わせ等の協議を行い、新型コロナウイルス感染対応も含めた具体的な福祉避難所の運営につなげる計画を策定する。併せて、新たな車両進入路についても小山町と協議を進めていくと共に防災に関する事業継続計画を策定する。(計画)

- \* 小山町危機管理局長より小山町内社会福祉施設・防災担当者等意見交換会の開催案内を頂き、5月7日に参加した。その際に、車両進入路の必要性を訴え、福祉避難所としての運営に関する計画策定の上での相談を依頼し、富士山噴火に対する小山町の現在の対策について確認することが出来た。
- \* 小山町危機管理局より、改定された富士山噴火ハザードマップ等についての説明会が12月14日に開催され、2名が参加した。説明内容を基に、火災、地震、風水害も含めた災害に係る事業継続計画(BCP)を作成した。
- \* 福祉避難所運営マニュアルを作成した。
- \* 新たな進入路についての協議は至っていない。

5) 感染症対策について、感染症対策委員会を中心に随時協議し、必要に応じてマニュアル等の更新を行ない、対応について職員に周知を図る。(計画)

- \* 感染予防対策は現在も継続した形で対応している。ワクチン接種について小山町、御殿場市、神山復生病院と連携を図り、希望した利用者及び職員の接種を、この3月までに3回目を終了スムーズに行うことができた。副作用等を想定し、利用者さんの状態観察とそれに伴う対応の確認及び職員についてはあらかじめ勤務変更を行うなど配慮した。
- \* 感染症対策に係る検討及び対策マニュアルの更新等については、感染状況の推移に応じて、随時感染症対策委員会にて行なった。感染防止のための自粛や緩和について、及び職員や利用者さんの体調管理について職員への周知を図った。
- \* 職員に感染者が発生するケース、或いは職員のご家族が感染に関係するケース等が

あったが、随時対応について協議を図り、感染拡大防止に努め、拡大には至らなかった。

6) 人材確保と育成については、今後も感染症対策が求められることを前提として、リモート機能の利用による研修参加をベースに、職員個々のニーズ、階層別等を考慮した計画を作成する。また、長期的な見通しを基にした組織体系を整理して必要な人材確保を目指していく。(計画)

\*人材確保については、感染予防対策のため、面接等を園内の生活区域ではない場所を利用し、見学を含めてリモートにより行なう形で進めてきた。

\*人材育成のために実施している「目標管理に対する考課」において、考課における妥当性や公正性のある評価を目指して、目標選択項目の追加や評価の偏りとの是正などを図った。

\*外部研修については一部を除き、リモートで参加することができた。

\*職員組織体系の見直しについては、抽出した現状課題を基に、「中期行動計画 2022-2024」として3か年についての重点事項として取り組む計画を作成した。

7) 日常的な財務・会計面においては、財務分析を行いながら安定した収入が得られるよう努める。(計画)

\*日常的な財務・会計面及び決算については塩崎公認会計士・税理士に指導助言をいただきながら経理規程に則り行なった。

\*財務分析については毎月、事務担当より、収入については自立支援給付費収益が、支出については事業費支出、事務費支出が会計責任者に提出された。

8) 財務面の分析を基にした中長期経営計画を作成する。(計画)

\*新しい入所利用者の確保に向けた計画は新型コロナウイルスの感染状況の好転により、ワクチン接種やPCR検査の結果などを短期入所の受け入れ条件とした形で新規入所者確保に向けた計画を進めた時期もあったが、程なく感染状況が悪化して計画の延期など進展ができず体験利用の実施は一件にとどまった。それでも、2月に1名が入所された。

\*財務面における中長期経営計画については、経営における課題を含めて「中期行動計画 2022-2024」を作成した。

2, 各事業所について

各事業については、当法人の定款に定めてある各社会福祉事業（以下参照）の経営は、「平和」「安息」「家庭」を理念とし、利用者さん並びにそのご家族に安心をもっていただき、幸せや豊かさを感じていただける支援を生活プログラム（事業計画）に則り実施した。

定款記載事業	サービスの種類	事業名
(1)第一種社会福祉事業		
障害者支援施設の経営	障害者支援施設（施設入所支援、生活介護）	駿東学園
(2)第二種社会福祉事業		
・障害福祉サービス事業の経営	共同生活援助	クララ寮
	短期入所	短期入所 駿東学園
・地域活動支援センターの経営	地域活動支援センター	駿東学園地域活動支援センターこでまり
・特定相談支援事業の経営	特定相談支援事業	駿東学園相談サポートセンターなでしこ
(3)定款に記載のない小規模事業	日中一時支援事業	駿東学園日中一時支援事業

(1) 利用者状況について

(R3,3,31 現在)

①各事業所利用実績（全事業所）

事業所		項目	定員 (人)	現員 (利用者数)(人)	開所日・ 営業日(日)	利用者延人数 /年(人)	利用者/日 (人)
駿東学園	施設入所支援		60	51 (-2)	365 (±0)	18,340 (-291)	50.3 (-0.7)
	生活介護		60	51 (-2)	261 (±0)	13,123 (-22)	50.3 (-0.1)
短期入所			4	3 (-3)	365 (±0)	202 (-169)	0.6 (-0.4)
クララ寮			5	4 (±0)	362 (+1)	1,433 (-4)	4.0 (±0)
こでまり			15	18 (-1)	246 (-7)	2,038 (-101)	8.3 (-0.2)
日中一時支援事業			3	4 (-3)	365 (±0)	84 (+35)	0.2 (+0.1)
相談支援事業	基本相談			97 (+44)	261 (+15)	924 (+257)	3.5 (+0.8)
	計画相談			101 (-5)	261 (+15)	317 (-29)	1.2 (-0.2)

注：( ) は、前年比

②各事業所利用者平均支援区分（全事業所）

事業所	駿東学園	短期入所	クララ寮	こでまり	日中一時
支援区分	5.6	5.7	4.3	4.6	—

③各事業所年齢構成（全事業所）

単位：人 注：( )は女性

年齢 事業所	年齢							
	20以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～
駿東学園	0	2 (1)	3 (2)	4 (3)	18 (8)	13 (8)	10 (5)	1 (0)
短期入所	0	0 (0)	2 (2)	0	1 (1)	0	0	0
クララ寮	0	0	0	1 (0)	0	2 (1)	1 (1)	0
こでまり	0	6 (2)	4 (3)	2 (0)	3 (1)	2 (1)	1 (1)	0
日中一時	4 (2)	0	0	0	0	0	0	0

④各事業所平均年齢（全事業所）

単位：歳

事業所 性別	事業所				
	駿東学園	短期入所	クララ寮	こでまり	日中一時
男性	59.4	—	57.0	39.7	15.5
女性	56.6	40.3	69.0	43.4	14.5
全体	57.9	40.3	63.0	41.3	15.0

⑤利用者の入院状況

（駿東学園）

・入院した利用者数 3名

（入院状況内訳）

単位：日

科	内科	口腔外科	合計
延べ日数	124	3	127

（クララ寮）

・入院した利用者数 0名

⑥駿東学園・クララ寮利用者の帰省状況

新型コロナ感染状況により当初予定していた帰省期間での帰省が困難な状況が続き、感染状況に好転が見られた時期に帰省を予定した。結果は次のとおりである。

（駿東学園）

（人）

	1日～3日	4日～6日	7日以上
4月に帰省した人	1	1	1
11月に帰省した人	2	1	1
12月～1月の期間で帰省した人	4	6	3

（クララ寮）

（人）

	1日～3日	4日～6日	7日以上
12月～1月の期間で帰省した人	1	0	0

⑦利用者入退所について

◎駿東学園

入所者数	1名	退所者数	3名
------	----	------	----

(2) 各事業所職員配置について(全事業所)

(R3,3,31 現在)

①(駿東学園)(短期入所)(日中一時)

職種	管理者	サビ管	医師	看護師		生活支援員		音楽療法士	
	(常兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)		(非兼)
現員	1	1	2	2	1	25	10	0	3
常勤換算	1	1	0.1	2.7		31.3		0.4	
34.4									
職種	栄養士	事務員		調理員		他			
	(常兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)			
現員	1	1	3	4	2	1			
常勤換算	1	3.1		5.6		0.1			

②(クララ寮)

職種	管理者	サビ管	世話人		生活支援員		事務員
	(常兼)	(常兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)
現員	1	1	1	2	0	4	1
常勤換算	1	0.3	1.1		1.1		0.1

③(こでまり)

職種	施設長	生活支援員		事務員	調理員	看護師
	(常兼)	(常兼)	(非兼・専)	(常兼)	(常兼)	(常兼)
現員	1	1	3	1	1	1
常勤換算	1	3.0		0.1	0.5	0.1

④(なでしこ)

職種	管理者	相談支援専門員
	(常兼)	(常専)
現員	1	1
常勤換算	1	1

(3) 日中活動について

①(駿東学園)(こでまり)(短期入所)(日中一時)

主な日中活動は、次のとおりである

1) 6つの作業等の班に分かれて活動した。

- ・ひまわり班：椎茸栽培、ヘチマ作り、木工作品作り、散歩等
- ・園芸班：シクラメン栽培、野菜作り、木工作品作り等

- ・土塊班：花瓶、湯呑み、小鉢、平皿、石膏型を利用した陶芸作品作り、散歩等
- ・ワーク班：カレンダー作り、和紙染め、アクセサリ作り等
- ・クレヨン班：結び織り、刺し子、刺繍等の手芸作品作り、リハビリ等
- ・ドリーム班：散歩、リハビリ、ドライブ等

2) レクリエーションでは、音楽的な活動・健康維持に努めた体操・塗り絵や紙芝居、建物内の装飾等の創作活動を実施した。

3) コロナ禍における地域での感染状況を勘案して行われた日中活動については以下のとおりである。

- ・外活動：野菜作り、環境整備、散歩等
- ・創作活動：あんず寮、くるみ寮に分かれて、手芸活動、塗り絵等
- ・散歩、リハ活動：あんず寮、くるみ寮に分かれて、散歩やリハビリ等
- ・こでまり、日中一時：ドリーム班の教室を活動スペースとした創作活動や散歩等
- ・個別外出（外食）については、各寮2か月に1回利用者の希望を確認しながら近隣の飲食店で実施しているテイクアウトを活用し、模擬外食としての楽しみの機会の提供を試みた。但し、まん延防止等重点措置期間については、テイクアウトの利用を控え、学園厨房にて折詰を用意しテイクアウト気分を楽しめるような食事提供や特別なおやつや誕生会のケーキについては工場等で生産した安全管理が確認できるもので対応を行なった。

#### ② (クララ寮)

火曜日から土曜日は、「駿東学園地域活動支援センターこでまり」を利用し、上記のこでまりの日中活動を行った。こでまり休日時は、コロナ禍における感染予防のため、外出等は控え、クララ寮内外の環境整備等を実施した。

#### (4) 各種行事について (全事業所)

今年度の行事は新型コロナウイルス感染予防対策のため、下記のとおり実施した。

行事名	予定日	実施日	場所等
花見	4月8日	4月8日	密にならない形で駿東学園グラウンドで実施した。
ハイキング	5月20日	5月20日	駿東学園近辺及びグラウンドでハイキングコースを設定し、昼食はハイキングメニューを提供した。
6月の行事 (親子一泊旅行代替行事として)	6月2～3日	6月2日～3日	駿東学園各寮ホールで買いものの体験及び昼夕食は利用者希望人気メニューを提供した。
七夕	7月7日	7月7日	駿東学園各寮ホールに分かれて実施した。
盆踊り	未定	中止	主催者より中止の案内
7月の行事 (納涼祭・サマーコンサート代替行事として)	7月21日	7月21日	駿東学園各寮でカラオケや室内ゲームを実施し、昼食は納涼祭メニューを提供した。

8月の行事 (花火大会)	8月18日	あんず(9/13) くるみ(9/26)	今年度よりバーベキューと花火を分離して実施。予定した日は雨天のため、各寮毎に延期して実施した。
9月の行事 (バーベキュー大会)	9月17日	9月16日	予定した日に健康診断の予定が入ったため、9月16日に変更して実施。例年8月に実施していたが毎年酷暑が続いたため、屋外での実施を勘案し、また、こども利用者の参加を考慮して、今年度は9月の時期に、実施時間帯を昼食時間帯に設定して実施した。
駿東学園運動会	10月9日	10月9日	感染症対策として利用者、職員のみでミニ運動会として実施した。
11月の行事 「お疲れ様会」 (棟旅行・忘年会代替行事)	11月17日	11月17日	学園内で寮毎に明かれてレクリエーションと昼食にテイクアウトで仕出し料理を提供した。
クリスマス会	12月25日	12月25日	学園内で各寮に分かれて実施した。参加者は利用者、職員のみとした。
どんど焼き	未定	1月9日	代表の職員のみ地域のどんど焼きに参加した。 後日学園内でおやつとして団子を提供した。
ひな祭り	3月3日	3月3日	各寮に分かれて実施。おやつに桜餅を提供した。

(5) 感染症関係について (全事業所)

- ①厚労省、保健所等からの通達等を基に、嘱託医等に助言を仰ぎながら、近隣事業所や福祉協会等からの情報収集、嘱託医に指導を仰ぐ等、感染防止対策の継続を徹底し、国や県の対応措置等や感染状況の好転等に応じて、必要な感染対策の更新や緩和について、感染症対策委員会を中心に協議し、職員に周知を図った。
- ②職員の家族などが感染や濃厚接触に係る事案が見られ、状況による対応措置を嘱託医に相談を仰ぎ、随時対応した。
- ③ワクチン接種については、接種希望を利用者及び職員に確認した上で、1回目、2

回目のワクチン接種を8月までに、3日目接種を3月にそれぞれ実施した。実施にあたっては、小山町、御殿場市、及び復生病院と連携を図り、予定通り実施することができた。

インフルエンザ予防接種は令和3年11月9日に実施した。

- ④新型コロナウイルス罹患者については、1月に職員が1名罹患された。感染については、職員のご家族の方が発症され、濃厚接触者としてその後感染に至った。感染に伴い、関係機関への報告と同時に、学園における濃厚接触の調査、必要な利用者職員に対しての抗原検査及びPCR検査を実施した。また、通所事業の営業休止、勤務調整を行うなど事業継続について随時検討を図りながら対応した。その後、感染の拡大は見られず、感染した職員も勤務復帰している。

その他、職員のご家族が感染又は濃厚接触者に認定されることで、必要な待機期間、検査の実施についてなど状況に応じた対応について都度検討した上で対応した。

その他、インフルエンザ及びノロウイルス罹患者は出なかった。

(6) 事故報告等について (駿東学園) (クララ寮) (短期入所) (こでまり)

①事故報告

項目		件数				合計件数
		駿東学園	クララ寮	短期入所	こでまり	
怪我等	通院あり	8	3	0	3	68
	通院なし	41	1	1	2	
薬	誤与薬	1	1	0	0	
	再与薬	3	1	0	0	
	未与薬	1	0	0	0	
その他		2	0	0	0	

内、1件は障害福祉サービス等の提供に係る事故報告要領入所利用者に則り静岡県並びに関係市町に報告した。

②ヒヤリハット 6件

以上、事故報告等については、職員会議並びに朝の打合せ等において、情報共有すると共に改善策等について職員間で共通認識を持った。

(7) 人権・権利擁護について (全事業所)

全職員を対象に毎月権利擁護チェックリストの配布 (毎月の職員会議日) により自己点検を実施回収した。回収したチェックリストの確認及び整理を担当職員で実施し、毎月のチェックリストによる自己点検を権利擁護に対する職員の意識の向上に役立てた。

(8) 防災対策について（全事業所）

避難訓練：以下の訓練を実施した。

	駿東学園	クララ寮
火災想定避難訓練	7回	6回
地震想定避難訓練	5回	6回
研修	1回	1回

その他）・新任職員を対象とした避難訓練等防災全般に研修実施（4月28日）

- ・毎月1日に非常伝言ダイヤル（171）の利用訓練を実施。
- ・防災食のローリング備蓄による消費は、新型コロナ感染時に備え、消費を控えた。

注）駿東学園には、こでまり、短期入所、日中一時を含む

(9) 防犯対策について（全事業所）

①（駿東学園）（こでまり）（短期入所）（日中一時）（なでしこ）

- ・夜勤者はセコム緊急通報装置を常時携帯し勤務した。
- ・夜間（18:30～翌6:30）は建物施錠を実施した。
- ・学園敷地内屋外2か所に防犯カメラを設置している。

②クララ寮

- ・昼夜問わず防犯会社とのセキュリティ契約で防犯対策にあたった。

(10) 苦情（要望）について（全事業所）

苦情（要望）解決委員会を1回開催した。苦情（要望）の件数については、法人ホームページ、季刊誌ミルトスに掲載予定並びに職員、利用者保護者に報告。苦情（要望）の件数は下表のとおりである。

（件数）

	駿東学園	クララ寮	こでまり	短期入所	日中一時	なでしこ	合計
苦情	2	0	0	0	0	0	2
要望	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0	0	2

(11) 職員研修等（全事業所）

①法人内研修

開催年月日	研修内容	参加者の職種及び人数
R3年4月14日	権利擁護、虐待防止委員会 「権利擁護チェックリスト集計」「権利擁護チェックリスト考察」	クララ寮管理者・副園長 (1)、サービス管理責任者(1)、生活支援員責任者(5)、看護師(1)

R3年4月16・ 19・22・23・28	令和3年度新人研修 ・「法人の理念と福祉について・知的障害者 とは・職員倫理綱領と行動規範・事務・医 務・防災・権利擁護・リスクマネジメン ト」	園長(1) クララ寮管理者・ 副園長(1)、サービス 管理責任者(1)、看護 師(1)、事務員(1)、 生活支援員(2)、相談 員(1)、調理員(1)
R3年8月31日	権利擁護、虐待防止委員会 「権利擁護チェックリスト集計」「権利擁護 チェックリスト考察」	クララ寮管理者・副園長 (1)、サービス管理責 任者(1)、生活支援員 責任者(5)、看護師 (1)
R3年9月1日・ 13日・14日・15 日	令和3年度新人研修 ・法人の理念と福祉について・知的障害者全 般・職員倫理綱領と行動規範・事務・医務・ 防災・権利擁護・生活プログラム・駿東学園 サービス内容・個別支援計画・リスクマネジ メント、他	園長(1) クララ寮管理者・ 副園長(1)、サービス管 理責任者(1)、看護師 (1)、事務員(2)、生活 支援員(1)
令和3年10月1 日・4日・5日・6 日	令和3年度新人研修 ・感染症リスクマニュアル・法人理念と福祉 について・知的障害全般・職員倫理綱領と行 動規範・防災関係・生活プログラム・駿東学 園サービス内容・権利擁護・リスクマネジメ ント	園長(1) クララ寮管理者・ 副園長(1)、サービス管 理責任者(1)、看護師 (2)、生活支援員(1)
R3年11月15日 ～R4年1月12日	新型コロナウイルス対応園内研修 感染症対応(防護服着脱テクニック)	サービス管理責任者(1)、看護 師(3)、相談支援専門 員(1)生活支援員 (36)
R3年10月14日	新人研修 リスクマネジメント	生活支援員(1)、看護師(1)
R4年2月9日	新人研修 感染症対策等	副園長(1) 厨房職員(2)
R4年3月2日	令和3年度年間ケース会議	理事長(1)、園長(1)、ク ララ寮管理者・副園長 (1)、サービス管理責 任者(1)、事務員(1)、相 談支援専門員(1)、看護 師(2)生活支援員(11)

②法人外研修

開催年月日	研修内容	参加者の職種及び人数
R3年4月23日、 5月7日	動画配信 R3年度社会福祉法人監事監査研修 ①社会福祉法人の指導監査等について（県） ②監事による会計監査等について（杉山会計士） （静岡県社会福祉協議会主催）	園長(1)、監事(2)、理事長(1)、事務員(1)、クララ寮管理者・副園長(1)
R3年4月23日	令和3年度 第1回理事会 (ZOOM ミーティング) (静岡県知的障害者福祉協会主催)	クララ寮管理者・副園長(1)
R3年4月23日	令和3年度 第1回会員総会 (ZOOM ミーティング) (静岡県知的障害者福祉協会主催)	園長(1)、クララ寮管理者・副園長(1)
R3年5月7日	小山町内社会福祉施設防災担当者意見交換会（小山町危機管理局）	クララ寮管理者・副園長(1)
R3年5月14日	「HACCPの考えを取り入れた衛生講習会」 (ZOOM ミーティング) (静岡県主催)	園長(1)、栄養士(1)、クララ寮管理者・副園長(1)
R3年5月27日	令和3年度施設長・主任者等合同会議 (ZOOM ミーティング) (静岡県知的障害者福祉協会主催)	クララ寮管理者・副園長(1) サービス管理責任者(1)
R3年6月3日	御殿場・小山障害者自立支援協議会 知的障害関係施設担当者会議	クララ寮管理者・副園長(1)
R3年6月9日	「施設事業所におけるリスクマネジメントの重要性・自然災害・感染防止とリスクマネジメント」 (ZOOM ミーティング) (日本知的障害者福祉協会主催)	看護師(1)
R3年6月11日	令和3年度 第55回静岡県知的障害者福祉協会大会 「これからの知的障害福祉を考える」 ～ポストコロナ時代の職員像を探る～ (ZOOM ミーティング) (静岡県知的障害者福祉協会主催)	クララ寮管理者・副園長(1)、生活支援員(2)
R3年6月17日	日本知的障害者福祉協会 東海地区代表者会議 (ZOOM ミーティング)	クララ寮管理者・副園長(1)

R3年6月22日～ 24日	強度行動障害者支援者養成研修 (基礎・実践研修) (株)エイド主催 (ZOOM ミーティング)	生活支援員(1)
R3年7月8日	社会福祉士実習指導者フォローアップ講習会 (社会福祉士会主催) (オンライン配信)	相談支援専門員(1)
R3年7月29日	R3年度静岡県社会福祉法人経営協总会「福祉 長寿局・こども未来局・障害者支援局の今年 度の重点施策について」 (動画配信)	園長(1)
R3年8月4日	東部地区経営者協議会合同研修会 「孫正義と松下幸之助に学んだ超一流の リーダーシップ」鳴聡氏 (オンライン形式)	園長(1)
R3年8月10日	第44回てんかん基礎講座 ・てんかんとはどういう病気か・てんかん発 作の介助・てんかんの治癒・てんかんに合併 する精神科的障害・てんかんと発達障害・て んかんと学校生活・自動車運転と社会生活 (日本てんかん協会主催) (オンライン配信)	生活支援員(1)
R3年8月20日	第32回令和3年度全国グループホーム等研修会 テーマ「ありのまま いきていく ちいきのなかで」 ・記念講座「今日も一日楽しかった」 ・Live Talk「明日に向けた暮らしの在り方」 ・第3分科会「高齢知的障害の支援について」 ・Cross talk「障がいのある方々の権利を守 る“まちづくり”」 (日本知的障害者福祉協会主催) (ZOOM ミーティング)	クララ寮管理者・副園長 (1)
R3年9月29日	R3年度第59回東海地区知的障害関係施設長 等研究協議会「どう変わるこれからの福祉！ 求人難の対応と利用者の住まいを考える」・ 合掌苑における人材定着のための取組・中央 情勢報告・日中サービス型GHの取組事例 主催者：日知協 東海地区会(愛知県) (Zoom ミーティング)	園長(1)、クララ寮管理者・ 副園長(1)
R3年10月4日	メンタルヘルス講座 「職員が自分の健康を保つために」	生活支援員(1)

	～コミュニケーションとメンタルヘルスの基本を学ぶ～ (オンライン配信) (静岡県知的障害者福祉協会主催)	
R3年10月6日、7日	令和3年度 全国知的障害関係施設長等会議 「テーマ：障害のある方の望む暮らしの実現に向けて」 ・行政説明・協会活動報告・テーマについてのシンポジウム・分科会（多様なニーズに対応した住環境について）等 (オンライン配信) (日本知的種会社福祉協会主催)	園長(1)、クララ寮管理者・副園長(1)
R3年10月7日	令和3年度 地域支援部会研究集会 「これからの生活の場としてふさわしいグループホームの追求」～感染症、支援、先を見据えた人材確保・育成～ ・新型コロナウイルス対応報告（さくらグループ） ・グループホームでの生活支援と感染症対策～意見交換会～ (静岡県知的障害者福祉協会主催) (ZOOM ミーティング)	クララ寮管理者・副園長(1)
R3年10月7日	ハラスメント相談担当者会議 (ZOOM ミーティング) (公益財団法人 21世紀職業財団主催)	事務員(1)
R3年10月8日	令和3年度 第2回理事会 (ZOOM ミーティング) (静岡県知的障害者福祉協会主催)	クララ寮管理者・副園長(1)
R3年10月21日	WEB セミナー 令和3年度静岡県知的障害者福祉協会 障害者支援施設部会研究集会 第三分科会①「新型コロナウイルス感染症クラスターに関する報告(体験談)」 第2分科会②「富士見学園の視覚化・構造化の取り組み」	サービス管理責任者(1)、生活支援員(2)
R3年10月27日	WEB セミナー 令和3年度静岡県知的障害福祉協会日中支援部会職員研究集会 「どうすれば職員間で良い人間関係を築く	生活支援員(1)

	ことができるか」	
R3年11月2日、 12月15日	WEBセミナー 令和3年度相談支援従事者現任研修 (静岡県主催)	ケア寮管理者・副園長 (1)、サービス管理責任者(1)、生活支援員 (2)
R3年11月5日	WEBセミナー 権利擁護啓発講座 (静岡県知的障害者福祉協会主催)	生活支援員(1)
R3年11月12日	WEBセミナー 令和3年度福祉サービス事業者説明会 (集団指導) (静岡県主催)	園長(1)、ケア寮管理者・副園長(1)、サービス管理責任者(1)事務員(1)
R3年11月22日 ～26日	WEBセミナー 令和3年度静岡県強度行動障害支援者養成研修実践研修(静岡県主催)	サービス管理責任者 (1)、生活支援員(1)
R3年11月23日 ～24日	WEB研修 第9回障害者支援部会(全国大会)北海道大会 「権利擁護の視点から支援の質を考える」 (コロナ禍において重度高齢化が進む障害者支援施設に問われるものは) 基調講演「なぜ人は支えあうのか？」渡辺一史氏 実践発表「一緒に生きる～コロナ禍の支援を通して気づかされたこと」 「障害者の権利・人権を守る取り組み～倫理綱領作成とその後の取り組み」 シンポジウム「障害者の人権を守り、共生を実現するためには何が必要か？」 (日本知的障害者福祉協会)	園長(1)
R3年11月26日	WEBセミナー ハラスメント防止・対策研修会 (小山町社会福祉協議会主催)	事務員(1)
R3年12月9日	上級救命講座 主催：御殿場市・小山町広域行政組合 場所：御殿場消防署	生活支援員(1)

R3年12月14日	富士山ハザードマップ(改訂版) 住民等説明会 主催：小山町危機管理局 場所：小山町総合文化会館 大ホール	ケア寮管理者・副園長 (1)、生活支援員(1)
R3年12月25日	WEBセミナー 社会福祉法から見た 事業継続に必要な内部保留 ・内部保留の意識 ・社会福祉法における内部保留 ・事業継続に必要な内部保留 ・事業継続に必要な内部保留の現状分析 (静岡県社会福祉協議会主催)	事務員 (1)
R4年1月12日	WEBセミナー 令和3年度社会福祉施設運営管理研修会 「社会福祉施設・事業所のBCP(事業継続計画)実践編」～実践事例から学ぶ、策定から運用まで～ (静岡県社会福祉協議会主催)	ケア寮管理者・副園長 (1)
R4年1月13日 1月14日	WEBセミナー サービス管理責任者等更新研修 (静岡県主催)	生活支援員 (2)
R4年1月19日	WEBセミナー 第58回東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会 テーマ「一人ひとりが大切にされる地域共生社会の実現を目指して」 ～コロナ禍で見えてきたものから、コロナ禍を超えて求められるもの～ 中央情勢報告～「今、私たちに求められていること～」 シンポジウム 「コロナ禍でみつけた大切なもの」 (日本知的障害者福祉協会東海地区会)	①ケア寮管理者・副園長 (1) ②生活支援員 (1)
R4年1月25日	WEBセミナー 令和3年度施設長等研修会 令和4、5年度役員選任について (静岡県知的障害者福祉協会主催)	ケア寮管理者・副園長 (1)

R4年1月27・28日	WEBセミナー 第58回全国知的障害福祉 関係職員研究大会(京都大会) 分科会：高齢について「高齢社会における障害者支援とコミュニティ～年を重ねて自分らしく生きよう～」 分科会：虐待防止「障害者虐待防止・権利擁護と意思決定支援」 (日本知的障害者福祉協会主催)	生活支援員(1)
R4年1月7日～1月21日(配信) 1月31日(講義)	WEBセミナー 令和3年度静岡県障害者虐待防止・権利擁護研修(静岡県主催)	生活支援員(1)
R4年2月1日	WEB研修 第3回都道府県経営協セミナー 1.ポストコロナに向けた法人経営とアクションプラン2025 2.公的価格の抜本的見直しと処遇改善のポイント 他 (全国社会福祉法人経営者協議会)	園長(1)
R4年2月21日	WEBセミナー 個別避難計画(災害時ケアプラン)作成事業報告会～防災と福祉の連携による個別避難計画の作成に向けて～ (静岡県主催)	相談支援専門員(1)
R4年3月1日	令和3年度 部会協議会 ①全体会(ZOOMウェビナー) ②部会討議(ZOOMミーティング) (日本知的障害者福祉協議会主催)	クララ寮管理者・副園長(1)
R4年3月2日	東部成人施設長連絡会 ハラスメント対策について 名屋浩志氏 GW・ハラスメント対策について (ファシリテーターとして参加)	園長(1)
R4年3月7日	令和3年度第2回東海地区代表者会議 1.全体会:審議事項、地区会報告情報提供等 2.分散会 部会:委員会による意見交換 (日本知的障害者福祉協会東海地区会) (ZOOMミーティング)	クララ寮管理者・副園長(1)

R4年3月11日	社会福祉法人指導監督職員研修 動画配信（R4年2月21日～R4年3月11日）（静岡県主催）	園長(1)、ケア寮管理者・副園長(1)
R4年3月17日	令和3年度 第2回会員総会 （静岡県知的障害者福祉協会） （ZOOM ミーティング）	園長(1)、ケア寮管理者・副園長(1)

### ③研究会等自己研鑽支援

社会福祉士会等に参加し自己研鑽に努める職員には勤務を配慮。

### ④資格・免許等取得

- ・相談支援専門員現任研修 4名終了
- ・サービス管理責任者更新研修 2名修了
- ・知的障害を理解するための基礎講座 3名修了
- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践） 2名修了
- ・強度行動障害支援者養成研修（実践） 1名修了
- ・介護福祉士資格 1名取得

### ⑤御殿場小山自立支援協議会関係

なでしこの相談支援専門員は、御殿場小山自立支援協議会の運営に運営委員として携わる。会議等は、運営会議（9回）、相談支援部会（2回）、地域生活支援拠点事業プレ登録ケース検討会（3回）、日中支援型グループホーム評価会議（1回）、全体会（1回）に出席した。また、なでしこ所長は全体会（1回）に出席した。

### (12) 主な契約、修繕等について（10万円以上）

- ・電気工作物保安管理費（年） 村松電気管理事務所 184,800円
- ・水質検査（年） 芝浦セムテック株式会社 628,650円
- ・嘱託医契約（年） 一般財団法人神山復生会神山復生病院 2,520,000円
- ・人事労務管理に関する相談契約（年） ウィルゴ社会保険労務士法人 198,000円
- ・コンサルティング業務（年） 塩崎崇文会計事務所 792,000円
- ・消防用設備点検（年） 有限会社富士消防用品商会 341,000円
- ・浄化槽維持管理（年） 小山衛生社 132,000円
- ・退職金掛金 独立行政法人福祉医療機構 3,649,000円
- ・社会福祉事業者総合保険 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 356,900円
- ・労働保険 静岡労働局 1,033,785円
- ・福利厚生制度掛金 社会福祉法人福利厚生センター 480,000円
- ・労働災害総合保険・使用者賠償責任保険 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 240,890円
- ・相談支援従事者現任研修参加費 静岡県 160,000円
- ・会計ソフト保守料（年） 株式会社CIJ 121,000円
- ・職員、利用者健康診断 公益社団法人有隣厚生会富士病院 678,875円

・退職金積立 一般財団法人静岡県事業共済会	717,600 円
・デスクトップパソコン 東栄商工株式会社	165,000 円
・あんず男子棟ボイラー修理 株式会社巴商会	330,000 円
・くるみ寮排煙オペレーター修理 株式会社オサコー建設	220,000 円
・デスクトップパソコン 東栄商工株式会社	137,500 円
・カラー複合機 東栄商工株式会社	748,000 円
・あんず女子棟ボイラー修理 株式会社巴商会	368,500 円
・コールドテーブル 北沢産業株式会社	303,600 円
・浄化槽維持管理（年） 小山衛生社	132,000 円
・5月浄化槽汲み取り 小山衛生社	132,000 円
・7月浄化槽汲み取り 小山衛生社	145,200 円
・9月浄化槽汲み取り 小山衛生社	145,200 円
・一般廃棄物処理（年） 富士総業株式会社	396,000 円
・エレベーター保守（年） SEC エレベーター株式会社	422,400 円
・労働保険 静岡労働局	891,301 円
・インフルエンザ予防接種 一般財団法人神山復生会神山復生病院	183,500 円
・永年勤続表彰（20年） 本岡宏一	300,000 円
・地代 湯山きく枝	147,163 円
・労働保険 静岡労働局	891,301 円
・新型コロナ抗原検査キット 一般財団法人神山復生会神山復生病院	176,000 円
・自動車保険 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	452,870 円
・あんず寮・職員寮火災保険 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	440,160 円
・非常照明バッテリー 有限会社富士消防用品商会	224,400 円
・ラウム車検 トヨタユナイテッド静岡株式会社	100,594 円
・お疲れ様会お弁当 株式会社つぼぐちフードサービス	419,040 円
・求人掲載 株式会社アルバイトタイムス	100,100 円
・厨房ダクト清掃 株式会社浜松空調工業	198,000 円
・給水引き込み配管漏水修理 株式会社オサコー建設	267,300 円
・特殊建物建築設備定期点検 株式会社アーククルー一級建築士事務所	638,000 円
・11月浄化槽汲み取り 小山衛生社	132,000 円
・1月浄化槽汲み取り 小山衛生社	132,000 円
・あんず寮混合栓修繕工事 株式会社三協	121,000 円
・木枝伐採 有限会社住建	675,400 円
・地代 天野勝	1,643,866 円
・地代 天野政雄	1,536,171 円
・利用者、職員健康診断、人間ドック 公益社団法人有隣厚生会富士病院	1,073,574 円
・3月浄化槽汲み取り 小山衛生社	132,000 円

・印刷機保守（年）	東栄商工株式会社	137,500 円
・警備保障（年）	セコム株式会社	175,560 円
・害虫駆除（年）	有限会社関東消毒	257,400 円

(13) 固定資産(器具及び備品等)の取得と除却について

①取得

・デスクトップパソコン	東栄商工株式会社	165,000 円
・デスクトップパソコン	東栄商工株式会社	137,500 円
・カラー複合機	東栄商工株式会社	748,000 円
・コールドテーブル	北沢産業株式会社	303,600 円

②除却

・デスクトップパソコン	160,500 円	平成 22 年 3 月 15 日取得
・ノートパソコン	183,750 円	平成 24 年 3 月 29 日取得
・デスクトップパソコン	199,342 円	平成 25 年 9 月 12 日取得
・デスクトップパソコン	159,285 円	平成 25 年 9 月 12 日取得

(注) 金額については、取得価格。

(14) 会計について（全事業所）

令和 3 年度会計に係る計算書類等及び財産目録は、決算書類のとおりである。

(15) 寄附金について

駿東学園拠点区分（62 件）	8,832,352 円
（内訳）	
・法人（1 件）	1,000,000 円
・駿東学園（施設入所）（60 件）	7,822,352 円
・クララ寮（1 件）	10,000 円

(16) 労働安全衛生関係について（全事業所）

江藤産業医と契約を締結し職員の健康管理及び健康管理指導にあたり、ストレスチェックも実施した。

また、毎月江藤産業医が来園され、労働安全衛生関係について点検を受けると共に、コロナウィルス感染予防対策に関する助言を仰ぎ、意見交換を実施してご指導を頂いた。

(17) 地域貢献について（全事業所）

新型コロナウイルス感染予防のため、地域貢献として、地域住民との交流並びに知

的障害者への理解のための啓発、ボランティア団体の受け入れ、実習生の受け入れ等の予定については自粛することとなった。(全事業所)

①地域住民との交流並びに知的障害者への理解のための啓発

- ・小学生に知的障害者への理解の為の啓発のため、明倫小学校との交流（駿東学園での餅つき）を予定したが、中止した。
- ・北郷地区盆踊り、小山町夏祭り、ふれあい広場はすべて中止となったが、地元のどんど焼きには職員が代表で参加した。
- ・地元の明倫小運動会への参加も自粛した。
- ・駿東学園隣接のうさぎ沢のホタル観賞の時期に駿東学園の駐車場を解放した。
- ・明倫地域まちづくり推進協議会（旧称：明倫地域金太郎計画推進協議会）実施の地元芋掘りについては11/18に感染予防対策を図って参加した。
- ・地元神社会や大脇区班長会議等に参画した。

②ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染予防のため、定期的なボランティア団体等の受け入れを基本的に自粛してきた。但し、何らかの形での関わりを求め、これまで築いてきたつながりの維持を図るため、以下のような関わりを持つことができた。

- ・すみれ会～主に縫製作業を実施して下さっていましたが、作業をご自宅等で行なって頂いた。
- ・小山町民生委員～利用者との接触を控えた形で敷地内の環境整備をして頂いた。
- ・不二聖心女学院～環境整備等の活動の代わりにお花を送って頂いた。
- ・小山町民踊愛好会～民踊と一緒に踊ることの代わりに、民踊のDVDを提供していただき、随時鑑賞等で楽しむことができた。
- ・個人の皆様～昨年度末をもって退職された職員2名の方は、まん延防止等医重点措置適用期間を除いて、感染対策をそのまま継続した上で退職後もボランティアとして不定期で来園してくださっている。

③実習生の受け入れ（受け入れ校）

- ・新型コロナウイルス感染予防のためこの期間での受け入れについては、受け入れ条件等についてあらかじめ学校側にお伝えし、実習を受け付けた時点でのコロナ感染状況等を勘案し、都度受け入れ可否について判断してきた結果、この期間においては中止した。

④小山町教育委員会との連携

- ・昨年度に引き続き、今年度の受け入れ機会はなかった。

⑤上記の②③④の受け入れ状況

		受入数	受入日数	延人数	合計（人）
実習生（0校）		0（±0）	0（±0）	0（±0）	0（±0）
ボランティア	団体	0（±0）	0（±0）	0（±0）	148（+131）
	個人	2（+1）	74（+57）	148（+131）	

学校教諭	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)
注) 駿東学園保護者会は、上記表には含めていない。( ) は、前年比				148 (+131)

#### ⑥福祉避難所

- ・小山町危機管理局との防災担当者会議において、福祉避難所としての運営や、県道につながる道路の確保などについての課題を提起させていただくことができた。その後の進展はないが、当施設における福祉避難所の運営マニュアルを作成した。また、在宅の方の個別避難計画の作成に向けて小山町としてモデル事業を実施していく計画があり、参画していくこととなった。

#### (18) 保護者会（行事等含む）について（駿東学園）（クララ寮）（こでまり）

本年度の保護者会との連携状況は、次のとおりである。

- ・保護者会はコロナウィルス感染対策のため開催を控えることが多かったが、感染状況が好転した12月12日に開催場所を小山町健康福祉会館会議室を活用して実施することができた。しかし、他の月での開催はできず、昨年度同様、毎月1回近況報告として、感染防止対策の現状や生活の様子を記した資料や利用者さんの写真等を郵送してお知らせした。
- ・保護者会役員会は令和4年1月5日に生活プログラム会議として駿東学園で実施した。
- ・感染症対策により利用者との面会については制限を継続中だが、事前予約制により面会場所と時間を設定し、随時実施した。
- ・オンライン面会については、ZOOMを利用した形で実施可能な旨をご案内したが、保護者からの要望はなく実施には至っていない。
- ・個別支援計画実施状況並びに要望の聞き取りについては、新型コロナ感染リスクを考慮して対面での実施を自粛した。そのため、9月、3月に個別支援計画説明資料を郵送し、それぞれの時期において「個別支援意向確認書」を同封して意向確認を行なった。